

2022 年度日本木材学会中部支部大会（長野）実施報告

信州大学 細尾佳宏、長野県林業総合センター 今井信

2022 年度日本木材学会中部支部大会は、10 月 20 日（木）、21 日（金）に長野県にて開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020 年度三重大会および 2021 年度富山大会はオンライン形式での開催でしたが、本大会は 2019 年度名古屋大会以来、3 年ぶりの対面形式での開催となりました。ただし、依然コロナ禍であることを考慮し、研究・技術発表会での発表形式は口頭発表のみとし、懇親会は行わないこととしました。

大会 1 日目は、塩尻市市民交流センター（えんぱーく）にて、12:00～12:50 に評議員会が開かれ、13:00～17:00 に研究・技術発表会が行われました。研究・技術発表会の参加者数は 61 名（このうち学生は 29 名）で、コロナ前と比べるとやや少なかったものの、昨年度と同数となりました。開会式では、最初に大会実行委員長の細尾より挨拶を行った後、ご来賓の青木謙治 日本木材学会副会長よりご挨拶とご祝辞をいただきました。開会式の後、A 会場と B 会場に分かれて口頭発表が行われました。A 会場では 10 件、B 会場では 12 件、計 22 件の発表が行われ、両会場で活発な質疑応答が行われました。全ての口頭発表終了後、閉会式が行われ、まず山本浩之 中部支部長より大会の講評をいただいた後、細尾より閉会の挨拶を行いました。続いて、来年度の開催地である石川県を代表して石川県農林総合研究センター 林業試験場の鈴木修治氏より石川大会のご案内をいただき、研究・技術発表会は終了となりました。なお、優秀発表賞の発表は、後日、中部支部ホームページ上で行われ、受賞者の皆様には賞状と副賞が郵送されました。



開会式での青木副会長のご挨拶



A 会場での口頭発表の様子



B 会場での口頭発表の様子

大会 2 日目の見学会では、9:00～10:30 にソヤノウッドパーク（塩尻市）、11:20～12:00 に奈良井宿（塩尻市）を見学しました。参加者は、19 名（このうち学生は 8 名）でした。ソヤノウッドパークでは、最初に信州 F・POWER プロジェクト（長野県の森林資源を活用し、その恩恵を森に還元することで、林業の再生・循環型社会の形成を目指す産学官の取り組み）、征矢野建材株式会社、ソヤノウッドパワー株式会社の概要について説明を受けた後、征矢野建材株式会社の床板加工工場、製材工場等を見学しました。各担当者から丁寧な説明をしていただき、参加者との質疑応答も活発に行われました。奈良井宿では、奈良井川に架かる木造・アーチ状の歩道用の橋である木曾の大橋をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている町並みを見学しました。盛りだくさんの内容で最後は駆け足になりましたが、晴天にも恵まれ、有意義な時間を過ごしていただけたかと思います。



見学会の様子

コロナ禍での対面形式による開催に不安もあり、また当日は至らぬ点多々あったかと思いますが、大きなトラブルなく無事に大会を終えることができたと思っております。大会にご参加いただいた皆様、ご協力いただいた塩尻市産業振興事業部農林課、同市生涯学習部市民交流センター、征矢野建材株式会社、ソヤノウッドパワー株式会社の関係各位に厚く御礼申し上げます。

【優秀発表賞】

- ・ A03 アンモニウム CMC を助剤とした紙粉押出成形品の特性評価
（三重大生資）○木全遥香、（三重大院生資）徳永有希、野中寛
- ・ A04 乾熱処理と吸湿履歴が木材の曲げクリープ挙動に及ぼす影響
（静大院総科技）○井上恭輔、小島陽一、青木憲治、小堀光
- ・ B06 シリンギルリグニンの形成機構の解析
（富山県大工、富山県大生医工研セ）○山口愛由、岸本崇生、占部大介
- ・ B09 細胞壁の力学物性におけるセルロースマイクロフィブリル束の影響
（名大院生命農）○菅沼佳歩、吉田正人、山本浩之